学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより４号
令和５年４月２０日発行
文責：校長・副校長

朝のあいさつ運動が始まりました！！

【生徒玄関であいさつ運動】

先週から、生活委員会の活動となっている朝のあいさつ運動が始まりました！生活委員長の髙尾菜々子さんを中心に声を掛け合いながら活動しています。登校は、「７時５５分までに着席しよう！」となっています。ガイドブックには、登校は８時５分までとなっているのですが、余裕をもって登校し、落ち着いた気持ちで気持ちよく朝のスタートを迎えようという趣旨のもとに、生活委員会を中心に呼びかけを行っています。先日、給食の時間に髙尾さんが放送で呼びかけてくれました。

最近の朝の様子、５５分着席の様子はどうですか？この活動を行っている本来の目的は「余裕をもって行動する力」を身に付けるためです。何も言われずとも７時５５分に着席するために、皆さん一人一人が「何時に起き、何時に家を出ればよいか」を考え、いつも通りに歩いて登校しても余裕をもって５５分に間に合うという姿を目指しています。この活動の意味を考え、社会に出た時に、自分たちが困らないような行動の習慣を身に付けていきましょう。そして、落ち着いて気持ちの良い朝を迎えることができるように、全校生徒全員で頑張っていきましょう！！

【最後に門を閉めます】

このように、将来に向けて必要な力を身に付けるために、生徒が主体的に活動できるということは本当にすばらしいことだと思います。

現在、余裕をもって登校できている人もそうでない人もいますので、時中生全員ができるようになるとよいです。

また、「あいさつを大きな声でしっかりと行う」ということも生活委員会の課題としてあがっています。

「挨拶（あいさつ）」とは…

「挨（あい）」には心を開くという意味があり、「拶（さつ）」には相手に近づくという意味があります。つまりあいさつは、「心を開いて、相手に近づく」という意味なのです。

また、朝会ったときのあいさつ「おはよう」は、「早くからごくろうさまです」の略だと言われています。それは、朝から働く人をねぎらう言葉でした。「こんにちは」は、「今日は、ご機嫌いかがですか」の略でお昼に初めて出会った人の体調や心境を気づかっていました。「こんばんは」は「今晩は、良い晩ですね」の略だと言われています。また、「さようなら」は、「さようならば」の略で、「それなら、私はこれで失礼いたします」という意味だったそうです。

それぞれにあいさつの意味はありますが、それはどれも、**相手を大事にする言葉**ということが分かります。今の時代は、昔に比べたらもっともっと、多種多様な人とのつながりを深める必要がある時代に突入しています。そのつながりを深める一番最初の一番簡単なコミュニケーションの手段が「あいさつ」なのです。そのような意味を考えると、やはり、あいさつは生きていく上でとても重要な礼儀だと考えます。

生活委員会の目標である「余裕をもった行動」「しっかりとあいさつをする」この２つがもっともっと高められればと思います。時中生のみなさんも心がけて頑張っていきましょう。私たち、職員も心がけていきたいと思います。ご家庭、地域でもお声掛けいただければ幸いです。